

(平成 1 7 年 6 月分)

種 類	市況の概要
野 菜	一部の産地に旱魃の影響があったが、夏物の入荷が始まり、全体として入荷量は、ほぼ前年並みとなった。 価格は、天候の影響による品質の低下と一般消費の低調から、前年同期を 2 1 % 下回った。 品目別には、はくさい・ほうれんそう・レタス・きゅうり・トマト・ピーマン・長大根は入荷増となり、価格は前年同期を下回った。特にはくさい・レタスは一般消費が低調で、前年を大きく下回った。なすはほぼ前年並みの入荷量であったが、価格は前年同期を下回った。ばれいしょは入荷減となり、価格は前年同期を上回った。キャベツ・たまねぎは入荷減であったが、価格は前年同期を下回った。特にキャベツは一般消費が低調で、前年を大きく下回った。 葉菜類は、入荷は前年並み、価格は 3 0 % 下回った。 果菜類は、入荷は 8 % 増加し、価格は 2 6 % 下回った。 根菜類は、入荷は 9 % 増加し、価格は 3 2 % 下回った。 土物類は、入荷は 1 5 % 減少し、価格は 4 % 下回った。
果 実	入荷量は、メロン類は増加、りんご類はほぼ前年並み、柑橘類・さくらんぼ・ぶどう類・すいか類は減少し、全体としては、ほぼ前年並みとなった。 価格も、ほぼ前年並みとなった。 柑橘類は、入荷は 4 % 減少し、価格はほぼ前年並みとなった。 りんご類は、入荷はほぼ前年並み、価格は 1 7 % 上回った。 さくらんぼは、入荷は 2 1 % 減少し、価格は 5 % 下回った。 ぶどう類は、入荷は 1 1 % 減少し、価格は 3 % 下回った。 メロン類は、入荷は 2 0 % 増加し、価格は 1 1 % 下回った。 すいか類は、入荷は 3 % 減少し、価格は 5 % 上回った。

	市況の概要
はくさい	長野を主力に茨城からの入荷。気温の上昇とともに生育は回復し、入荷量は、前年同期を４％上回った。 価格は、入荷増に加え、品質の低下と一般消費の低調により、前年同期を４５％下回った。
キャベツ	茨城・九州を主力に兵庫・愛知・長野・鳥取からの入荷。長野・鳥取産が低温と早魃の影響で生育が遅れ、全体として入荷量は、前年同期を９％下回った。 価格は、入荷減にもかかわらず、一般消費の需要が低く、前年同期を５０％下回った。
ほうれんそう	京都・滋賀を主力に入荷。入荷量は、前年同期を１６％上回った。 価格は、入荷増と少雨による品質低下のため、前年同期を２３％下回った。
レタス	長野を主力に兵庫からの入荷。入荷量は、前年同期を１８％上回った。 価格は、入荷増と一般消費の低調により、前年同期を４３％下回った。
きゅうり	宮崎・福岡・高知を主力に入荷。気温の上昇とともに生育は進み、入荷量は前年同期を１３％上回った。 価格は、入荷増のため、前年同期を３２％下回った。
なす	岡山・高知を主力に熊本・福岡・滋賀・京都からの入荷。近郷物が天候不順のために減少したが、全体として入荷量は、ほぼ前年並みとなった。 価格は、遠地物の入荷増のため、前年同期を３３％下回った。
トマト	熊本・福岡を主力に北海道・三重・奈良からの入荷。入荷量は、前年同期を１１％上回った。 価格は、入荷増のため、前年同期を２６％下回った。
ピーマン	大分・茨城を主力に入荷。入荷量は、前年同期を６％上回った。 価格は、入荷増のため、前年同期を２１％下回った。

長大根	青森・北海道を主力に滋賀・関東からの入荷。気温の上昇とともに生育は回復し、入荷量は、前年同期を 13 % 上回った。 価格は、入荷増のため、前年同期を 34 % 下回った。
ばれいしょ (メイクイン含む)	長崎・静岡を主力に三重・茨城からの入荷。長崎産が生育期の早魃の影響で小玉傾向となり、入荷量は、前年同期を 22 % 下回った。 価格は、入荷減のため、前年同期を 30 % 上回った。
たまねぎ	兵庫・佐賀を主力に愛知からの入荷。生育期の低温の影響で小玉傾向となり、入荷量は、前年同期を 12 % 下回った。 価格は、入荷減にもかかわらず、小玉傾向のため、前年同期を 10 % 下回った。

	市況の概要
ハウスみかん	長崎を主力に佐賀・宮崎・和歌山からの入荷。春先の低温の影響で生育が遅れ、入荷量は、前年同期を 12 % 下回った。 価格は、入荷減のため、前年同期を 6 % 上回った。
ふ　じ (サンふじ含む)	青森の貯蔵物の入荷。競合品目の品薄感から前倒し出荷され、入荷量は、前年同期を 37 % 上回った。 価格は、入荷増となったものの、品質の良好さと前月からの高値もあって、前年同期を 15 % 上回った。
さくらんぼ	山形・山梨を主力にアメリカ産の入荷。天候の影響で山形産の生育が遅れ、入荷量は、前年同期を 21 % 下回った。 価格は、入荷減にもかかわらず、品質の低下のため、前年同期を 5 % 下回った。
デラウェア	島根を主力に奈良・大阪・山梨からの入荷。春先の低温の影響で生育が遅れ、入荷量は、前年同期を 10 % 下回った。 価格は、入荷減にもかかわらず、品質の低下のため、前年同期を 6 % 下回った。
アールス	静岡を主力に高知・宮崎・熊本・愛知からの入荷。入荷量は、前年並みとなった。 価格も、ほぼ前年並みとなった。
アンデス	熊本を主力に愛知・茨城・山形からの入荷。春先の低温の影響で熊本産の入荷がずれ込み、入荷量は、前年同期を 30 % 上回った。 価格は、入荷増と品質の低下のため、前年同期を 24 % 下回った。
アムス	茨城を主力に鳥取・愛媛からの入荷。入荷量は、前年同期を 13 % 上回った。 価格は、入荷増のため、前年同期を 21 % 下回った。
大玉すいか	鳥取・愛知を主力に熊本・長崎からの入荷。天候の影響で主力産地の生育が遅れ、入荷量は、前年同期を 7 % 下回った。 価格は、入荷減のため、前年同期を 6 % 上回った。